



令和7年度「ホタルウィーク」開催!!

本年度のホタルウィークを6月28日(土)から7月6日(日)の9日間、土京川付近の観光路で開催しました。例年通りの梅雨の時期でしたが幸いにも雨天中止はなく無事に開催することができました。

期間中、ホタルは1,030匹が確認され、来場者は1,699名でした。ホタルの目撃数は昨年に比べ、今年は多く観賞でき、喜ばしい結果になりました。来場者数も昨年より多く、地域住民の皆さんのホタルへの関心の高さを感じることができました。中でも若槻小学校児童関係者140名の他、家族連れの家族が多く来場し、例年にない大盛況でした。さらに今年度は初めて来場されたお子様たちが多かったように感じました。「初めて来て感動しました! 若槻にもこんな素晴らしい場所があるんですね、また来年も来ますね」と、嬉しい言葉も掛けていただいております。



準備風景

半年前から準備し、近隣の住民の皆様や駐車場をお貸しいただいた企業・団体・個人様やコミわかの全部会及び関係協力団体の皆様のご理解とご協力のもと、このホタルウィークを大きな事故もなく、無事に開催できました事を心より感謝申し上げます。観賞してくれた子どもたちがいつか故郷を巣立った時、また若槻地区に帰って来たいと思えるように、我々はこの素敵な自然を守り抜いていきたいと思っております。

(自然環境部会・ホタルウィーク実行委員会)



乱舞するホタルを期待し
川面を見入る親子



第75回 明るく幸せな社会を築く 若槻地区住民集会開催



長野中央警察署生活安全課係長による講演

7月12日(土)午前10時から若槻コミュニティセンター体育館で、「第75回 明るく幸せな社会を築く 若槻地区住民集会」が開催されました。

開会后、最初に「社会を明るくする運動」について、「犯罪や非行のない、安全で安心な暮らしはすべての人の望みであり、犯罪や非行を生み出さない家庭や地域をつることが大切である。」との事業趣旨や内容の説明が中野計男若槻地区保護司会代表からありました。

続いて、徳間小学校の長井裕之校長先生から「徳間小学校の人権教育」について、長井先生の子供たちへの講話を通じて、また学校全体として

日々人権教育を実践されている現状を報告いただきました。

講演会では、長野中央警察署生活安全課防犯指導係長の宮澤優斗氏より「より良い社会のための防犯対策」と題して、お話をお聞きました。日ごろから出来る地域・個人の防犯対策について、具体的事例を示して説明いただき、示唆に富む大変有意義なお話をさせていただきました。今後、本集会に参加された皆さんを通じて、各区で開催される住民集会やコミわか防犯部会の中で、多くの若槻地区の皆さんに伝えていただきたいと要望されました。

最後に、人権擁護委員の青木一男さんから「私たちは、1人ひとりの人権を尊重し、優しさと笑顔にあふれ、いじめや差別のない、真に平等なまちづくりを進めていきます。」という「若槻地区人権尊重アピール宣言」を朗読いただき、集会に参加された皆さんの満場の拍手を持って採択され、集会が終了しました。



(人権教育部会) 「若槻地区住民集会」で展示されたポスター
(北部中学校 山岸 結菜さん)